

2012 年 12 月吉日

年末のご挨拶とご報告

謹啓

2012年も残りわずかとなりましたが、本年中は大変お世話になり、ありがとうございました。

昨年1月に開業後、おかげさまで、2年目も順調に業務を行うことができました。これも、皆様方のご支援によるものとスタッフ一同大変感謝しております。

立花、田中、山田、松井の4名の代表パートナーを含む6名の実務スタッフ体制で2年目を迎えましたが、本年は、意匠・商標系弁理士1名と事務スタッフ1名を増員し、来年1月からは特許系弁理士2名と事務スタッフ1名を増員する運びとなりました。これにて、来年からは、実務スタッフ(9名。代表パートナー4名を含む)、事務スタッフ(4名)、図面スタッフ(1名)の体制にて業務を行います。今後も、品質を十分に担保できることを条件に、スタッフを増員し、皆様方のニーズにお応えできるように精進して参りたいと思います。

2013年1月時点での当事務所の業務体制は以下の通りです。

- ・ 特許
立花、田中、山下、水谷、榎田（弁理士有資格者）
特許技術スタッフ 1名
- ・ 意匠、商標、著作権、不競法
松井、山田、石上（弁理士有資格者）
- ・ 知財法務、訴訟
山田（弁護士有資格者）
- ・ 事務スタッフ 4名
- ・ 図面スタッフ 1名

以下、当事務所の本年の業務について簡単にご説明させていただきます。

1. 特許

当事務所の特許部門では、国内と外国とを一体的に検討し、出願するすべての国の実務に対応した明細書の作成を目指しており、書籍、セミナーを通して皆様方に情報の提供をして参りました。また、外国出願のコストは、従来より不明な点が多いところ、当事務所では、不合理な請求を一切排除し、事務的な作業コストを低減した料金体系を提案しております。そのため、上述した外国の実務に対応した出願を合理的なコストで提案することができました。このような当事務所の活動にご理解を頂き、設立2年目の本年は外国出願が急増し、移管を含め、多数のPCT出願及びパリ優先出願を受任させていただきました。今後は、管理体制を逐次監視しつつ、増え続ける出願国にも対応できるように研究を深めたいと考えております。

また、国内案件については、訴訟案件を多数受任させていただいておりますので、そこから得られる知見を通じて訴訟に強い明細書の作成や中間対応にも注力しております。国内判例についても、常にウォッチングしておりますので、外国出願とともに、訴訟を踏まえた明細書作成についても研鑽を続けております。そして、このような知見は、レクシア知財セミナーで順次公開していく予定です。

2. 意匠

昨年に引き続き、関連意匠、部分意匠、画像意匠を十分に活用したデザイン思想保護を提唱させていただきました。特に、関連意匠については、当事務所から有効なバリエーションを具体的に提案させていただくことにより、クライアントとの議論を十分に重ねた出願を行って参りました。

外国意匠出願についても、欧米中を始め、その他東南アジアにも多数のご依頼をいただき、各国制度を踏まえた上で、デザイン思想保護戦略を実践しています。特に、今年は、様々な戦略的関連意匠や部分意匠が次々と登録を得ることができましたので、意匠登録が取れる限界点などについても多くの知見を得ることができました。

当事務所では知財を複数の法域で捉えた包括的な保護（特許と意匠によるハイブリッドプロテクション）を提案しており、今後も、その研究を深めて参ります。

なお、バリエーションを効果的に保護する戦略的意匠出願を多数ご利用いただいておりますため、来年より、バリエーション出願に関する成功報酬を**ディスカウント**させていただき、皆様の意匠保護をさらにバックアップさせていただきたいと思っております。日本意匠出願料金表（改訂版）が必要な場合には松井弁理士（matsui@lexia-ip.jp）までご連絡ください。

3. 商標

特に、外国商標出願におけるマドプロの活用が進んでいます。当事務所からも多数のマドプロ出願を行いましたが、今後もその利用は進むと考えております。各国出願につきましても、欧米アジアはもちろん、BRICS、南米、中東、アフリカ等、正に世界中に出願を

行い、そのノウハウは蓄積されています。また、今年は、松井がINTA（国際商標協会）、APAA（アジア弁理士協会）、中華商標協会年次大会等の国際会議に参加することにより、旧知及び新規の現地代理人との親交を深め、現地における鮮度の高い情報を仕入れております。今後も、クライアントの皆様様の外国商標権取得等を強力にバックアップさせていただきます。

4. 知財訴訟

今年は、昨年から継続していた案件に関し、続々と判決が出された1年でしたが、多くの事件で、クライアントの皆様様に満足いただける結果を残すことができました。

また、新規の知財訴訟も多数受任させていただき、レクシア設立後に新たに受任させていただいた知財訴訟（侵害訴訟と審決取消訴訟の合算）の件数もものべ20件となりました。

訴訟の結果は、権利の強さや、クライアントの皆様様の協力などの要素にも大きく左右されるものですが、幸い、よい多くの事件でよい結果を出すことができたことは代理人としても非常にうれしく思っています。

来年も今年以上に気を引き締めて、よい結果を残せるように努力していきたいと思っております。

5. 知財法務

弊所知財法務部では、訴訟案件のほか、多数の交渉事件、社内規程の整備、各種知財契約書（ライセンス契約書、共同開発契約書、秘密保持契約書など）の作成・検討、著作権・不正競争防止法・パブリシティ権等を扱わせていただいております。今年は、幅広い企業様から、様々なご依頼をいただきました。4月には、レクシアセミナーで、知財契約に関するお話をさせていただきましたほか、社内向けのセミナーも開催させていただきました。

今後も、企業の知財部の顧問弁護士として、フットワークよくスピーディな対応を心掛けていきたいと思っております。

6. セミナー

以下のURLに掲載の通り、本年は、計8回のレクシア知財セミナーを開催し、そのうち2回をご要望が多かった東京及び名古屋地区で開催させていただきました。また、外部講師として当事務所所属の弁理士・弁護士が20以上の講演を行いました。

http://www.lexia-ip.jp/lexia_seminar.html

また、クライアント企業様内部での社内セミナーにも多数お招きいただきました。

2013年も引き続き、今後も皆様方の要望に応えるように、多数のセミナーを開催したいと考えております。

7. 書籍、論文

本年は、当事務所所属の弁理士・弁護士が執筆した以下の論文が発行されました。また、来年4月までに、3冊の書籍が発行予定です。

【論文】

- ・ 「引用発明の適格性～化学・バイオ分野の裁判例を中心に考察する～」 LES JAPAN NEWS Vol. 53 No.1, March 2012(田中弁理士 著)

【書籍】

- ・ 「商標法(オンデマンド版)」有斐閣(山田弁護士 共著)

[刊行予定]

- ・ 「日米欧中に対応した特許出願戦略と審査対応実務(改訂版)」発明協会(立花弁理士 著)
- ・ 「米国特許明細書の作成と審査対応実務(改訂版)」経済産業調査会(立花弁理士 著)
- ・ 「特許法」有斐閣(立花弁理士 共著)

詳細は以下の通りです。

http://www.lexia-ip.jp/lexia_book.html

以上、簡単ではございますが、当事務所の本年の業務概要について説明させていただきました。知財に関するご相談、ご質問がございましたら、何なりとお知らせください。各知財分野に関する連絡窓口は以下の通りです。

特許(機械、電気関連)	弁理士 立花顕治 tachibana@lexia-ip.jp
特許(化学、バイオ関連)	弁理士 田中順也 tanaka@lexia-ip.jp
意匠・商標	弁理士 松井宏記 matsui@lexia-ip.jp
知財法務	弁護士・弁理士 山田威一郎 yamada@lexia-ip.jp

それでは、来年もよろしくお願いいたします。

謹白

レクシア特許法律事務所一同